

## 令和4年度 第1回静岡市入札監視委員会議事概要

開催日時	令和4年6月10日（金）午前10時00分から午前12時00分まで
開催場所	静岡市役所 静岡庁舎新館9階 特別会議室 及び ZOOMを使用したオンライン開催
出席委員	委員長 北 勝利 （東海大学） 委員 岩原 雅美 （しずおか市消費者協会） 坂本 真樹 （静岡大学） 中村 光央 （弁護士） 増田 貴行 （公認会計士）
説明のため出席した職員（審議順）	経済局 農林水産部 治山林道課 建設局 道路部 葵南道路整備課 上下水道局 下水道部 下水道建設課 建設局 道路部 葵北道路整備課 上下水道局 下水道部 下水道事務所
事務局	契約課長、外5名
議題・報告	1 入札契約方式別工事・業務委託に係る発注案件の審査 （抽出事案は別紙1のとおり） 2 低入札価格調査結果について 3 入札参加停止等措置の状況について 4 令和3年度の入札・契約状況について
委員からの意見・質問等とそれに対する回答	別紙2のとおり

## 抽出事案一覧表

No	件 名	入札・契約方式	担当課
①	令和3年度 市林道第14号 林道檜尾智者山線改良工事	指名競争入札	治山林道課
②	令和3年度 葵南市公災第3号 三ツ野1号線道路災害応急本工事	随意契約	葵南道路整備課
③	令和3年度 下建委第1605号 南部処理区三保地区管渠実施設計（詳細設計）業務 委託	制限付一般競争 入札	下水道建設課
④	令和3年度 葵北市道債委第2号 中沢相淵線用地測量業務委託	指名競争入札	葵北道路整備課
⑤	令和3年度 下事工第2801号 大沢排水区大沢雨水1号幹線築造その1工事	制限付一般競争 入札（総合評価 技術提案型）	下水道事務所

1 入札方式別工事・業務委託に係る発注案件の審査	
① 令和3年度 市林道第14号 林道檜尾智者山線改良工事	
質問	回答
<p>Q1 (増田委員)</p> <p>業者の指名内訳について、等級毎の資格保有者数はA等級91者、B等級93者とほぼ変わらないが、A等級からは2者、B等級からは7者を指名しており内訳はB等級が多くなっている。どういう理由か。</p>	<p>A1 (治山林道課長)</p> <p>農林水産部の方針に基づき、予定価格によって等級毎の指名内訳の比率を変えています。</p>
<p>Q2 (増田委員)</p> <p>比較的金額が少ないからB等級業者を多く選定しているのか。</p>	<p>A2 (治山林道課長)</p> <p>その通りです。</p>
<p>Q3 (北委員長)</p> <p>路面排水処理の改善とはどのようなものか。</p>	<p>A3 (治山林道課長)</p> <p>林道の場合、一般の市道とは整備基準が異なりまして、本業務については路面にコンクリート舗装を行い、また道路脇に排水の受けとなるような境界ブロックを並べて、良好な排水を確保することを目的として実施しています。</p>
<p>Q4 (北委員長)</p> <p>平面図添付の写真をみると、山側斜面から土砂が流出しているように見受けられるが問題はないか。</p>	<p>A4 (治山林道課長)</p> <p>管理上特に支障はありません。</p>
<p>Q5 (北委員長)</p> <p>山側斜面の土砂流出の規模としては、問題にならない程度という認識でよいか。</p>	<p>A5 (治山林道課長)</p> <p>はい、問題ありません。</p>
<p>Q6 (中村委員)</p> <p>選定理由の「地理的条件」および「地理的条件“等”」の“等”とは何を指すか。</p>	<p>A6 (治山林道課長)</p> <p>「地理的条件」は現場と会社の位置関係を指し、なるべく距離が近いこととしました。また林道の開削工事の実績について「等」のところで勘案しています。</p>

Q7 (中村委員) 「地理的条件」について、どのくらいの距離で選定しているか。	A7 (治山林道課長) 中山間地域の範囲内で選定しています。
Q8 (中村委員) 本社が中山間地域にあるということか。	A8 (治山林道課長) その通りです。

② 令和3年度 葵南市公災第3号 三ツ野1号線道路災害応急本工事

質問	回答
Q1 (坂本委員) 当工事にあたり、なぜ石福建設株式会社を選定したのか。他に災害協定を結んでいる業者はいるか。	A1 (葵南道路整備課長) 被災地は当工事の前に、令和2年度の災害によって同年度に別の復旧工事を実施していました。今回、その工事の構造物が壊れ、この除去を行うにあたり、その工事を請負している石福建設株式会社が被災地に現場事務所も重機も設置済であったため、同社を選定しました。 災害協定を結んでいる業者としては、静岡建設業協会とは52社、清水の建設業協会とは38社、由比の建設業協会とは4社、蒲原の建設業協会とは6社、非協会員とも協定を結んでいます。
Q2 (増田委員) 令和2年度の石福建設株式会社の復旧工事に問題はなかったのか。	A2 (葵南道路整備課長) 施工の問題ではなく、異常な降雨の影響と考えます。被災地の地質について、令和2年度工事前と被災後でボーリング調査の結果が異なっています。これは倒木や土砂の流入等、色々な条件が重なって地下水の流れが変化したためと考えられます。 このことから令和3年度工事においては地下水を排出するための管や、法面を定着させるための鉄筋挿入工を施しています。
Q3 (増田委員) ボーリング調査をした業者はどこか。	A3 (葵南道路整備課長) 具体的な業者名は控えますが、地質業者です。
Q4 (増田委員) ボーリング調査の結果の違いは、調査ミスではなく、実際に状況が変わったという	A4 (葵南道路整備課長) はい、そうです。

<p>判断でよいか。</p> <p>Q5（中村委員） 令和2年度の災害復旧工事について、契約金額や今回の被災までの完工高はいくらか。また被災によって残りの工事はどのような扱いになるのか。</p> <p>Q6（中村委員） 令和3年度の本復旧工事費用はいくらか。</p> <p>Q7（中村委員） この工事場所に、約4億円が使われ、尚且つ最初の8,060万円余りの工事は無駄に終わってしまったという認識か。</p>	<p>A5（葵南道路整備課 工事第4係長） 令和2年度の当初の契約金額は1億200万円余りです。令和3年度の被災までに実施済工事を勘案し清算したものとして、8,060万円余りです。 残りの工事については、今回の案件である応急本工事を実施する際に、国と工法を協議しました。実際に当工事のあとに、令和3年度の本復旧の工事を改めて発注しています。</p> <p>A6（葵南道路整備課 工事第4係長） 令和3年度の本復旧工事としては、2億200万円余りです。</p> <p>A7（葵南道路整備課長） 無駄とは考えませんが、結果的にそのような費用がかかりました。  (回答追加) 工事金額としては約3億円(8,060万円余、1,220万円余、2億200万円余)となっています。</p>
--	---

③ 令和3年度 下建委第1605号 南部処理区三保地区管渠実施設計（詳細設計）業務委託

質問	回答
<p>Q1（増田委員） 入札参加資格を満たす業者は何者だったか。</p>	<p>A1（下水道建設課長） 8者を確認しています。</p>
<p>Q2（増田委員） 一般競争入札の業務で8者は少ないのではないか。</p>	<p>A2（下水道建設課長） 予定価格で基準を設けており、7者以上を基準にしているため、問題ありません。</p>

④ 令和3年度 葵北市道債委第2号 中沢相淵線用地測量業務委託

質問	回答
<p>Q1（岩原委員）</p>	<p>A1（葵北道路整備課長）</p>

<p>「特殊な技術等を必要とする業務」とあるが、入札参加資格がある業者は何者だったか。</p> <p>Q2（増田委員） 「特殊な技術」とは何か。またこの5者を選定した理由は何か。</p> <p>Q3（増田委員） この5者はランダムに選定しているのか。</p> <p>Q4（増田委員） 「特殊な技術」というと土地家屋調査士等の資格が該当するのか。</p> <p>Q5（中村委員） 入札結果表を見ると、予定価格同額が2者、最低制限価格を下回っている業者が2者、落札者が真ん中の金額となっているのが不自然にも見えるが、これはどのように考えるか。</p>	<p>20者です。</p> <p>A2（葵北道路整備課長） 本業務が公図や地積測量図を基に現地の整合を測るものであるため、「特殊な技術等を必要とする業務」としてしています。 5者を選定した理由については、予定価格に基づいた選定業者数の基準があり、本業務が100万円以上500万円以内としているため5者としています。</p> <p>A3（葵北道路整備課長） 施工箇所が中山間地域のため、葵北道路整備課の所管である旧静岡市内の業者から選定していません。</p> <p>A4（葵北道路整備課長） その通りです。</p> <p>A5（葵北道路整備課長） そのような結果にはなっていますが、入札制度に沿った方法で実施した結果と考えています。</p> <p>（回答追加） 本業務は事前に予定価格を公表しており、予定価格同額の業者が生じる入札結果は妥当と考えます。</p>
---	---

⑤ 令和3年度 下事工第2801号 大沢排水区大沢雨水1号幹線築造その1工事

質問	回答
<p>Q1（岩原委員） 入札参加資格中に「資格審査結果通知書の土木一式工事に係る総合点が1,485点」とあるが、「1,485点」とはどういう位置付けになるか。</p>	<p>A1（下水道事務所） 市内登録業者の最高点です。代表構成員には、市内業者より経験や技術力、経営能力の高い業者を求めるため設定いたしました。</p>

<p>Q2 (岩原委員) 「再資源化等に要する主な費用」とは何か。</p>	<p>A2 (下水道事務所) シールド機から排出される汚泥を再資源化するために行う中間処理が主なものになります。</p>
<p>Q3 (岩原委員) 工期はどのくらいか。桜橋付近も工事を行っていると思うが。</p>	<p>A3 (下水道事務所) 本工事は令和4年4月27日から令和6年9月30日までになります。桜橋付近の工事についても令和6年度中に完成見込です。</p>
<p>Q4 (坂本委員) このような浸水対策の工事について41地区中27地区の対策が終わっているということだが、全地区の対策工事が終わるのは何年先を計画しているか。</p>	<p>A4 (下水道事務所) 静岡市浸水対策推進プランにおいては令和10年以降まで計画があり、そこで一度区切りをつける予定です。</p>
<p>Q5 (坂本委員) 並行して複数箇所で工事を行う予定ということですね。</p>	<p>A5 (下水道事務所) はい。同プランは下水道部、土木部河川課、および道路部の合同で実施しています。</p>
<p>Q6 (増田委員) 入札審査結果一覧表および入札結果によると、技術提案において点差がついており評価値に影響を与えているが、このような技術提案による施工方法でも問題はないのか。</p>	<p>A6 (下水道事務所) はい、問題ありません。</p>
<p>Q7 (北委員長) 施工における標準案があり、標準案を担保していればある程度の品質は確保できると認識している。技術提案はそこからの加点と認識しているが誤りないか。</p>	<p>A7 (下水道事務所) はい、その通りです。</p>

2 低入札価格調査結果について	
質問	回答
案件なし	

3 入札参加停止等措置の状況について	
質問	回答
質疑なし	

4 令和3年度の入札・契約状況	
質問	回答
質疑なし	